

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0402008

政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	15	環境の保全	事業優先度	A		
単位施策	4	ごみ・し尿処理の推進	政策事務分類	2	単独自治事務(個別計画)	
事業名	西紋ブロック広域資源ごみ処理事業		見直し年度			
事業期間	平成20年度～平成24年度		担当課	4	住民生活課	
事業主体	町		関係課	#N/A		
事業指標	資源ごみの適正処理率		関係課	#N/A		
事業目標	100%		ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
住民参加	2		関係例規・法令名	2	容器包装リサイクル法	
住民協働			関係個別計画名	1	一般廃棄物処理基本計画	

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容	
計画 内容	資源廃棄物のうち、有償売却となっていないびん・ペットボトル・その他プラスチック・段ボールの処理について紋別市リサイクルセンターに搬入し中間処理する。処理に係る協定を締結し、応分の処理負担金を支出するものである。	西紋ブロック広域資源ごみ処理負担金	西紋ブロック広域資源ごみ処理負担金	西紋ブロック広域資源ごみ処理負担金	西紋ブロック広域資源ごみ処理負担金	西紋ブロック広域資源ごみ処理負担金	
	西紋ブロック広域資源ごみ処理負担金						
計画 事業費	事業費(千円)	33,650	6,159	6,257	6,515	6,830	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	7,631	2,400	1,526	1,235	1,235		
一般財源	26,019	3,759	4,731	5,280	5,595		
実績 事業費	事業費(千円)	33,207	5,839	6,249	6,408	6,820	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	7,473	2,519	1,012	949	1,419		
一般財源	25,734	3,320	5,237	5,459	5,401		
関連 事項	(特定財源の詳細等) ・資源廃棄物売払収入	【評価・実績】	(実施内容等) ・容器包装リサイクル法に基づく、資源ごみを紋別市リサイクルセンターに搬入し処理しており、それに対する負担金をセンターに支出	(実施内容等) ・容器包装リサイクル法に基づく、資源ごみを紋別市リサイクルセンターに搬入し処理しており、それに対する負担金をセンターに支出	(実施内容等) ・容器包装リサイクル法に基づく、資源ごみを紋別市リサイクルセンターに搬入し処理しており、それに対する負担金をセンターに支出	(実施内容等) ・容器包装リサイクル法に基づく、資源ごみを紋別市リサイクルセンターに搬入し処理しており、それに対する負担金をセンターに支出	
			※前年度評価結果 A—継続/現状維持	※前年度評価結果 A—継続/現状維持	※前年度評価結果 A—継続/現状維持	※前年度評価結果 A—継続/現状維持	※前年度評価結果 A—継続/現状維持
	第4期総合計画関連 (継続有り)		年度目標値	100%	100%	100%	100%
			年度達成率	95%	100%	98%	100%
			全体達成率	17%	36%	55%	75%
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	

事業名	西紋ブロック広域資源ごみ処理事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	渡邊 孝司
		評価者 作成者 職氏名	環境衛生係長	苔米地 幸二

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民が排出する資源ごみ	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	資源ごみの適正処理量	
【抱える課題やニーズは】	的確な資源ごみの分別・収集	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	ごみの減量化、リサイクル率の向上	① 資源ごみの適正処理量(kg)	目標年度	平成24年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	容器包装リサイクル法の基づく、資源ごみの適正な収集及び処理		目標値	420 t
			実績値	420 t
			達成度	100.0 %
		②	目標年度	年度
			目標値	
			実績値	
		達成度	#DIV/0! %	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	紋別市リサイクルセンター施設運営・維持管理費の支出	単独では、容器包装リサイクル法に基づく、資源ごみの適正な処理が困難なため、紋別市と協定を締結の上、紋別リサイクルセンターに搬入し適切に処理をしている		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	資源ごみの適正な処理を行うためには、単独で処理できない現状では広域で処理することが必要であり、負担金支出により処理すべきである。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況		一般家庭及び事業所から排出される資源ごみについては、全て適正に処理している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由		資源ごみについては適正に処理されているが、各市町村の負担方式の見直しが今後必要と思われる(人口割→処理実績)
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	人員削減	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

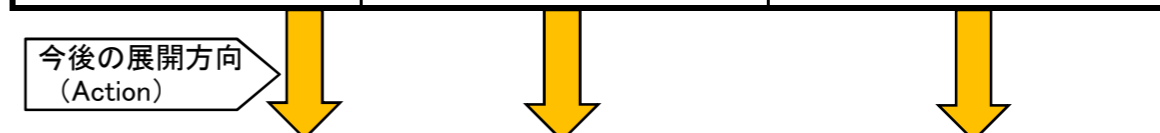
公平	判断の理由		資源ごみの収集処理については町内全体が対象となり、家庭・事業系の処理手数料を財源充当していることから公平と判断する
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
有償売却により資源化回収業者に引き渡すできない物については、単独での処理が困難であるため、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		



継続/現状維持		
現状においては、有償売却となっていない物の処理については、引き続き紋別リサイクルセンターへ搬入・処理が必要であり、現状維持が適当である。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止